平成１９年6月２６日

平成１９年学習支援事業（訪問講座）に関する報告

○　日　時　　平成１９年5月１０日（木）１３：００～１５：００
○　場　所　　岩手県立県民生活センター
○　講演者　　（社）全国消費生活相談員協会常任理事　菅　美千世
○　参加人員　　３５名

１　講演内容の概要について

演題「身近な場における安全・安心を考える」

・社告がでるごとに消費者は確認する必要がある。
・使う前に取扱説明書を読むこと。電気製品は発火する危険があることを認識する。
・高齢者が狙われている。だまされたことに気づかない。だまされたことを話さない。
・だまされたことを認識しても、また契約してしまう。障害者も狙われやすい。
・ク・オフは業者のハガキを使わせず、センター独自の内容で出させている。消費者のうしろにセンターがいることを業者に感じさせるため。
・1 年間のカレンダーつきポスターを作成・配布し、玄関からよく見える場所に掲出するよう消費者を指導している。訪販の業者が来たら口を利かずにポスターを指差し、撃退する。

２　受講者からの質問と回答（主なもの）について

特になし

岩手県立県民生活センター　相談指導・商品テストグループ

（注）この報告書は、事務担当者が作成したものであり、内閣府国民生活局の正式な見解ではありません。